

温海地域主要事業（地域まちづくり未来事業等）一覧

意見交換資料Ⅰ

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

| NO | 総合計画または地域振興計画上の位置付け 事業名 | 事業主体 | 事業内容 | 令和5年度実績 | 取組評価 | | R6事業費 (千円) | 令和6年度取組状況 | 令和6年度今後の予定 | 担当課 |
|---------------------------|---|-------------|--|--|------|--|-----------------|--|--|----------------|
| | | | | | 達成度 | 評価・課題 | | | | |
| 基本方針Ⅰ あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興 | | | | | | | | | | |
| 1 | あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興 【地域まちづくり未来事業】 温海地域水産物販売実証実験事業（継続） | 事業実施団体 | 令和9年開業予定の新道の駅においては地元産の鮮魚等を取り扱った事業展開が期待されており、実証実験事業を通して、「漁業のまち鼠ヶ関」のイメージ構築を目指す。 ・2週間を年4回（春夏秋冬） ・「紅えび」を使用した目玉商品開発 | 温海地域水産物販売実証実験事業 事業期間 ・5月17日～10月16日 道の駅あつみ「しゃりん」のバザールに「さがなあや」を設置し水産加工業者が取り組んでいる鮮魚等の実証販売を支援。 | ◎ | ・丸魚は見せ魚としての集客力はあるものの、そのままではなかなか売れない。 ・鮮度が落ちないうちに刺身、寿司等に加工して販売する必要がある。 | 540 | 温海地域水産物販売実証実験事業 事業期間 ・5月17日～令和7年2月28日 道の駅あつみ「しゃりん」のバザールに「さがなあや」を設置し水産加工業者等が取り組んでいる鮮魚等の実証販売を支援。 | 1回目 5月31日～6月13日 終了 2回目 9月13日～9月24日 3回目 11月8日～11月21日 4回目 1月24日～2月6日 2回目・3回目でアンケート調査を実施 | 産業建設課 |
| 2 | 鶴岡ならではの観光の振興（訪れたい、住みたい観光地域づくりの推進） 海水浴場事故防止・環境整備事業（継続） | 事業実施団体 | マリンパークねずがせき海水浴場の安全確保及び危険防止の対策を支援する。 | マリンパークねずがせき開設実績 ・開設期間；7月15日～8月20日 ・入込客数；5,300名 | ◎ | ・海水浴場管理者が安全対策を講じ、適正に海水浴場を運営した。 | 920 | マリンパークねずがせき開設実績 ・開設期間；7月13日～8月18日 ・入込客数；5,800人 | 本年度事業終了 | 産業建設課 |
| 3 | 鶴岡ならではの観光の振興（訪れたい、住みたい観光地域づくりの推進） 観光地美化整備事業（継続） | 市 | 温海地域の観光施設の維持管理に努め、観光客や利用者の利便性の向上、安全の確保を図る。 ・念珠閑跡地緑地 ・温海川河畔桜並木 ・念珠の松庭園 ・あつみ温泉足湯 ・温海嶽登山道 ・摩耶山登山道 他 | 委託業務契約を締結し、仕様書に基づいて、受託者がそれぞれの業務を遂行し、年度末までに全ての委託業務が完了した。 | ◎ | ・令和6年度に鼠ヶ関弁天トイレ管理が市民福祉課から産業建設課に所管替えされることに伴い、観光地のトイレとしてふさわしい管理を検討する。 | 4,912 | 今年度の委託業務契約を締結し、受託者と連携を取りながら、仕様に基づいて業務を遂行している。 | 令和7年3月31日までにすべての業務完了 | 産業建設課 |
| 4 | 交流・連携の推進と基盤の整備（高速交通ネットワークの充実） 道の駅あつみ移転整備事業（継続） | 市 事業実施団体 | ・令和9年開業予定の新道の駅の運営事業者選定手続きを進める。 ・移転後における現道の駅の跡地活用等の検討を行う。 ・「道の駅通信」を定期的に発行し、本事業に関する情報提供を行う。 | ・総合評価一般競争入札により運営事業者公募に係る入札公告を実施。 ・入札参加希望者と8月に2回目の個別対話を実施。 ・入札参加表明書の受付を9月1日に締切った。 ・事業者選定委員会を12月18日に開催し、入札及び最終プレゼンを実施。運営事業者グループ1社を選定した。 | ◎ | ・選定事業者（夕陽コミュニティグループ）の事業提案内容を市の要求水準に照らし、整合性や実現性等を確認、検証する必要がある。 | 16,094 (市全体) | ・新道の駅運営事業者側夕陽コミュニティとの定例会議等によって事業者のモニタリングを行うと共に、官民が連携し事業推進を図る。 ・運営事業者が担う設計・建設と維持管理運営業務を確認、検証のため、道の駅あつみ移転整備事業DB0モニタリング契約を締結（令和6年度～10年度：5年間） | ・現道の駅しゃりん納品事業者・出荷者等事業者説明会（9月4日） ・基本設計業務の確認及び事業者独自提案事項の確認（10月中） ・「道の駅通信」発行（12月予定） ・敷地の粗造成工事（盛土工など）（工期：令和7年3月31日） | 産業建設課 都市計画課 |
| 5 | 快適な都市環境の形成（多様な機能を有する公園・緑地の整備と保全） 温海公園整備事業（継続） | 市 | 指定管理者制度への移行を見据え、あつみ温泉の拠点施設である温海公園「ばら園」の魅力向上のため、施設の改修を進める。 ・温海公園整備工事 実施設計修正、トイレ改築 スロープ設置、防護柵改修 ステージ解体、園路改修等 | 9月13日 工事発注のための実施設計に対して地元から意見書が提出され、その意見書に対して説明を行った。 12月20日 温海公園遊具選定について、あつみ小学校全児童とあつみ保育園保護者を対象に事前アンケート及び意見交換会を実施した。 1月14日 温海温泉自治会部長会議にて見直しスケジュールの説明を行った。 温海公園遊具改修…令和6年3月15日完成 | ○ | ・バラ園整備の重機搬入路において、実施の砂防堰堤工事でも使用することから使用について調整が必要。 ・地元と専門家に丁寧に説明しながら進める必要がある。 | 35,000 | ・修正実施設計業務（令和6年8月21日契約） | トイレ改築（9月～3月） | 産業建設課 |

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

| NO | 総合計画または地域振興計画上の位置付け 事業名 | 事業主体 | 事業内容 | 令和5年度実績 | 取組評価 | | R6事業費 (千円) | 令和6年度取組状況 | 令和6年度今後の予定 | 担当課 |
|---------------------------------|--|--------------------------------|---|--|------|--|---------------|--|---|-------|
| | | | | | 達成度 | 評価・課題 | | | | |
| 基本方針2 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大 | | | | | | | | | | |
| 6 | 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大 【地域まちづくり未来事業】 温海地域支援ネットワーク推進事業（継続） | 市 事業実施 団体 | 人口減少が背景となって発生する諸課題の解決、地域の活性化を図るため、地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材（関係人口）を、新たな「地域の担い手」として受け入れるための仕組みづくりを進める。 | 【東京大学フィールドスタディ型協働プログラム（以降、東大FSと表記）】 （令和5年度で終了） ・温海地域内にて、対面インタビュー、地域住民との交流会、提案施策に対する意見交換等を実施。 参加者：東京大学 学生3名 現地活動①：9月1日～3日 現地活動②：12月8日～9日 現地活動③：2月24日 施策発表会 【温海地域若者交流会】 ・東大FSにおける学生の現地活動に合わせて交流会を実施した。 参加者：温海地域の20～30代 14名 【SNS情報発信講座】 ・東大FSに参加した学生を講師に迎え、地域内の中学生～30代を対象にSNSの活用とAI技術等をテーマにした講座を実施。 参加者：9名 【武者修行プログラム】 ※民間企業主催 ・全国各地から参加した大学生が4チームに分かれ「あつみ温泉街の魅力アップ」をテーマに企画提案。 参加者：大学生14名 | ○ | ・首都圏の学生等との交流を行ってきたが、地域内の若者のコミュニティを構築するまでには至っていない。 ・首都圏の学生等が、温海地域に関わるきっかけづくりには寄与していることから、今後は、継続的に関わる仕組みづくりや受け入れ体制が必要である。 | 958 | 【温海地域若者ネットワーク創出事業】 ・地域の若者を対象に、温海地域巡りを実施することし準備を進めている。 【温海地域関係人口拡大推進事業】 ・温海地域の若者と首都圏等の若者で構成する団体「温海の関係人口を増やす会（略称：あつかん）」を立ち上げ、9月から活動を開始。SNSを使った広報活動やお湯祭への参加呼び込みなどの取組を支援。 【武者修行プログラム】 ・参加申込みが少なく開催中止。 | 【温海地域若者ネットワーク創出事業】 ・10月に温海地域巡りを実施。温海地域の若者を対象に普段は行かない秘境的な地域を巡るなど若者の交流を促しつつ、温海地域への愛着の醸成を図る。 ・11月に秋田県五城目町の「シェアビレッジ町村」へ先進地視察。 ・地域内の若者グループと定期的にミーティングを実施。 【温海地域関係人口拡大推進事業】 ・1月に自主企画のイベント開催。 | 総務企画課 |
| 7 | 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大 【地域まちづくり未来事業】 温海地域家族まるごと移住体験事業（拡充） | 市 あつみ福祉 社会 事業実施 団体 | 都市圏在住で、子どもの教育に熱心な親世代に、自然豊かな地での保育、体験の場を提供し、親子と温海地域との関わりしるを作り、移住・二地域居住を目指す。 | 教育体験型ワークショップ「保育園留学」を全国的に実施している㈱キッチンハイクに業務委託し、7月31日より募集開始。受入先として鼠ヶ関保育園、宿泊先として小国楠山荘を設定。問合せ6件、受入利用3組。利用者からは、滞在期間の体験・保育に対して高評価を得た。本事業は「やまがた家族まるごと移住体験モデル事業補助」を活用。2月26日に県補助事業の報告会に参加。 | △ | ・受入目標10組に対して、受入実績が3組。受入開始が遅る倒しになり、集客が見込まれる夏季の受入を逸したことが要因。 | 6,190 | ・目標を10組または180人泊に定め、6月から受入を開始。現時点で受入が6組。加えて2組の予約あり。予約も含めると、180人泊を達成する見込み。 宿泊先を1件拡大し、「民宿丸武」での受入を開始。利用者からも、保育園・宿泊先・温海地域での体験について高評価を得ている。 ・庄内町でも同様の事業を行っていることから、意見交流会を実施。 | ・受入期間は令和7年2月末まで。 ・宿泊受入先の新規開拓。 ・広報への掲載等、保育園留学の情報発信。 ・外国家族の受入や小学生留学の受入など、事業拡大に向けた検討。 | 総務企画課 |
| 8 | 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大 【地域まちづくり未来事業】 温海地域教育環境充実事業（継続） | 温海生涯 学習振興 会 | 地域の教育環境の充実のため、地域おこし協力隊を1名配置し、地域と学校の連携・協働による中学校への学習支援の充実や、新学習指導要領にも定められた「生きる力」「非認知能力」を育む教育を推進する。 | 令和5年5月に、地域おこし協力隊を温海生涯学習振興会に配置し活動を展開。 ミッションは、 ・あつみ地域未来塾の充実 ・生きる力を育む教育推進のサポート ・生涯学習事業の企画運営 令和6年3月18日に活動報告会を実施。 | ◎ | ・協力隊員からは、常に課題意識をもって精力的に活動いただいた。 ・任期終了後を見据えたサポートやミッションに掲げた事業の継承、拡充を今から検討すべき。 | 5,054 | 令和5年度と同様のミッションに取り組みほか、教育環境の充実の一環として地域公民館を活用した自習室開放を実施。 | ・あつみ地域未来塾実施にあたってのコーディネーター ・活動報告会 | 総務企画課 |
| 9 | 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大 【地域まちづくり未来事業】 日本国登山イベント実施事業（完了） | 事業実施 団体 | 標高555mの日本国にちなんだ登山交流イベントを令和5年5月5日に村上市と連携開催し、日本国登山の知名度向上を図る取組を支援する。 | 登山交流イベント「日本国555フェスタ2023」を標高に因んだ、令和5年5月5日に開催。 県内外から登山愛好家など262名が参加。登山道への555記念植樹（山桜）や交流登山会、地元特産品の物販出展、参加者交流イベントを実施。 （事業完了） | ◎ | ・イベント実施により地域の新たな交流拠点の形成に繋がる取組などの機運醸成が期待される。 ・登山道は民有地のため地元自治会が中心に管理を担っており、継続的な管理が必要。 | | | | 産業建設課 |

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

| NO | 総合計画または地域振興計画上の位置付け 事業名 | 事業主体 | 事業内容 | 令和5年度実績 | 取組評価 | | R6事業費 (千円) | 令和6年度取組状況 | 令和6年度今後の予定 | 担当課 |
|-------------------------|--|-------------|--|--|------|--|-----------------|---|---|-------|
| | | | | | 達成度 | 評価・課題 | | | | |
| 10 | 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大 【地域まちづくり未来事業】 温海地域体験旅行推進事業（継続） | 事業実施団体 | SDGs教育旅行や体験型観光の受入を行うNPO法人の誘致活動等を支援し、交流人口の拡大と着地型観光の促進を図る。 | ・教育旅行7校、1,018名（宮城教育大学付属中学校など） ・個人団体受入数 1,060名 | ○ | ・コロナ禍が明け、教育旅行の受入校数が前年度に比べ大幅に減少。新規受入獲得のため、旅行代理店等へのプロモーション（営業活動）強化に取組む。 | 2,400 | ・9月2日現在の受入実績 教育旅行受入校数1校、151名（宮城教育大学付属中学校） ・個人団体受入数925名 ・キャンプ事業を10月末まで実施中 | 教育旅行受入れ実績のない県内（置賜方面）や宮城県仙台市内の小、中学校への営業活動を行う。 | 産業建設課 |
| 11 | 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大 【地域まちづくり未来事業】 温海地域魅力創造発信事業（休止） | 市 事業実施団体 | 日道全線開通後も観光客に選ばれた観光地を目指し、温海地域の魅力が詰まった観光プログラムの造成、あつみ温泉街の魅力づくり及び観光情報発信力の強化を図る。事業実施にあたっては、地域おこし協力隊制度を活用する。 | 地域おこし協力隊員が、あつみ観光協会職員として、あつみ観光協会の情報発信や検索情報分析ツールを活用した分析方法の勉強会、モニターツアー、期間限定のスイーツ販売等の事業を行った。9月12日に事業報告会を開催し、9月末をもって退任した。 | △ | ・地域おこし協力隊員が、任期途中で退任したことから、あつみ観光協会の事業推進体制について検討が必要。 | 0 | 令和6年度での地域おこし協力隊員の再配置に向けて検討を行ったが、あつみ観光協会が必要とする人材について、協力隊制度を活用することがそぐわないことから、制度活用を見送った。 | なし | 産業建設課 |
| 基本方針3 地域特性を生かした農林水産業の振興 | | | | | | | | | | |
| 12 | 地域経済を支える農業生産の拡大 (中山間地域農業の活性化) 地域計画策定推進事業（継続） | 市 | 農地が適切に利用されるように担い手等への集約化や今後の農業の将来像について地域で話し合いを行った結果を令和6年度末までに地域計画と一筆毎の耕作者を明確にした目標地図として作成する。 | 地域（集落毎）に①令和5年2月に実施したアンケート内容を反映した資料②山形県及び山形県農業会議と連携した「中山間地域における中山間課題解決検討チーム」によるゾーニング図（案）を配付し、地域での話し合いを終了した。 | ○ | ・ゾーニング図を配付し、地域内で話し合いを行ったことにより、それぞれの現状を把握することができた。前向きな農家の意見に重きをおいて、地域計画原案を作成する。 | 14,925 (市全体) | 温海地域の地域計画(案)と農業委員会サポートシステムを使った目標地図素案を作成し、地域で話し合いを行うように8月末に依頼。 | 温海地域内で地域計画と目標地図の話し合いを行い、令和6年12月にまとめる。 | 産業建設課 |
| 13 | 地域特性を生かした農林水産業の振興 【地域まちづくり未来事業】 温海地域在来作物振興事業 ①焼畑あつみかぶの振興（継続） | 市 事業実施団体 | 在来作物である「焼畑あつみかぶ」について、焼畑あつみかぶブランド力向上対策協議会が取組む活動を支援し、更なるブランド化と生産振興、後継者育成を図る。 ・焼畑あつみかぶチャレンジ支援 ・焼畑地へのスギ葉供給 ・プロモーション活動への支援 ・作業労働者確保への支援 | ①焼畑あつみかぶチャレンジ支援（栽培チャレンジサポート事業）の実施（対象：2個人）。 ②焼畑地へのスギ葉供給（スギ葉マッチング事業）の実施（申込数：23個人・団体）。 ③焼畑あつみかぶ生育・管理に関する業務委託（環境センシング事業）。 | ○ | ・栽培チャレンジサポート事業について、前年度からの取組をフォローしたのみであり、新規生産者を確保できなかった。次年度は新規生産者の確保に取り組む。 | 892 | ①焼畑あつみかぶチャレンジ支援（栽培チャレンジサポート事業）の実施（対象：2団体）。 ②焼畑地へのスギ葉供給（スギ葉マッチング事業）の実施（申込数：15個人）。 | ①労働力確保事業の実施。 ②農林水産イベントでのPR。 ③ポスターなどの販促ツール作成。 | 産業建設課 |
| 14 | 地域特性を生かした農林水産業の振興 【地域まちづくり未来事業】 温海地域在来作物振興事業 ②越沢三角そばの振興（継続） | 市 事業実施団体 | 在来作物である「越沢三角そば」について、まやのやかた越沢三角そば生産組合が取組む活動を支援し、「越沢三角そば」の振興による交流人口の拡大を図る。 ・打ち手育成支援 ・首都圏等でのプロモーション活動 ・品質確保に向けた活動 | ①首都圏等でのプロモーション活動の実施（7月、東京）。 ②栽培講習会などの品質確保に向けた活動の実施（7月）。 ③そば打ち講習会の開催。 ④チラシやのぼり旗などの販促用資料、物品の作成。 ⑤新そばの時期に合わせた温海地域内でのプロモーションの実施。 | ◎ | ・全ての事業を予定どおり実施できた。天候不順により、生産量が減少したため、今後は事業実施団体と栽培技術向上に向けた取組への支援を強化するなど、生産量増加に取り組む。 | 379 | ①栽培講習会などの品質確保に向けた活動の実施（7月） ②チラシやのぼり旗などの販促用資料、物品の作成と購入。 | ①首都圏等でのプロモーション活動の実施（2月、東京）。 ②そば打ち講習会の開催。 ③新そばの時期に合わせた温海地域内でのプロモーションの実施。 | 産業建設課 |
| 15 | あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興 地域特性を生かした農林水産業の振興 【地域まちづくり未来事業】 温海地域小ロット農産物生産振興事業（継続） | 事業実施団体 | 新たな道の駅を見据え、少量多品種の農産物等の生産振興を図るため、販売活動の推進と地産地消の拡大に向け、令和4年設立された産直活動組織「あつみ旬菜会」の活動を支援する。 ・産直活動円滑化支援 ・販売活動活性化 | ①「温海旬菜会」に対し補助金を交付。 ②畑らいふ支援事業は計画通りに（11グループ）活動し、終了した。 ③山菜イベント等のイベント開催や販売活動を実施。 ④産直組織活動円滑化支援や販売活動活性化の用品（のぼりやロゴシール）を整備した。 | ○ | ・会員の高齢化などで、農産物等が集荷に結び付きにくい。 | 215 | ①「あつみ旬菜会」に対し補助金を交付。 ②4～5月の週末や連休のイベントで山菜や孟宗等の出荷や販売を行った。 ③8月22日に集会を開催し、新道の駅に整備予定の6次産業化施設について情報共有を行った。 | ①9月5日に、道の駅うご「端縫いの郷」へ視察研修。 ②10月26日開催予定の温海農林水産まつりへ農産物等を出荷。 ③品質管理研修会及び総会(令和7年2月)を開催。 | 産業建設課 |

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

| NO | 総合計画または地域振興計画上の位置付け 事業名 | 事業主体 | 事業内容 | 令和5年度実績 | 取組評価 | | R6事業費 (千円) | 令和6年度取組状況 | 令和6年度今後の予定 | 担当課 |
|----|---|-------------|---|--|------|--|------------------|--|---|-------|
| | | | | | 達成度 | 評価・課題 | | | | |
| 16 | 地域経済を支える農業生産の拡大 (中山間地域農業の活性化) | 事業実施団体 | 中山間地域における営農活動の条件不利を補正するため集落協定に交付金を交付し中山間地の農業を維持する。 | 各協定ごとに活動を行い、交付金については第1回目を7月26日、第2回目を12月13日、第3回目を令和6年3月6日に支払った。第5期対策（令和2年度～6年度）において、交付金の単価を10割とするため、作成が必須となる集落戦略（協定農用地の将来像並びに協定農用地を含む集落全体の将来像、課題や対策について話し合い作成した集落全体の指針）については、令和5年度に作成完了。 | ◎ | ・鳥獣被害や農業者の高齢化等で面積が減少傾向にあるため、耕作放棄地が拡大しないよう、交付金制度（各加算等）の周知を徹底し、農地管理だけでなく、幅広い地域活動へ支援する。 | 277,189 (市全体) | 各協定ごとに活動中であり、交付金については第1回目を7月3日に支払い済みである。集落戦略に関しては、各協定の変更箇所について対応を行っている。その他第5期最終年度にあたる交付金の取扱いについて適宜説明を行っている。 | ・国、県より通知あり次第、第2,3回目（交付決定残額部分(約5%)や加算部分）の交付金を支払。 ・10月末に第6期の交付金説明を含めた「温海地域シンポジウム」を開催(国や県担当者も出席予定)。 ・第6期交付要綱の発表があり次第、各協定への情報共有を迅速に行う。 | 産業建設課 |
| | 中山間地域等直接支払交付金事業（継続） | | | | | | | | | |
| 17 | 地域経済を支える農業生産の拡大 (中山間地域農業の活性化) | 市 事業実施団体 | 電気柵等の追い払い用機材の購入費や狩猟免許取得に係る経費の一部補助を行う。また、鶴岡市鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の捕獲、追い払いを行い、有害鳥獣による農作物被害を防止する。 | 【農作物被害対策】 ・電気柵設置補助4件 ・鳥獣被害対策補助1件 ・各集落に追い払い用火を配付 【有害鳥獣の駆除活動の支援】 ・狩猟免許取得補助2件 ・サル(104頭)、イノシシ(43頭)の駆除実績の確認 | ◎ | ・農地での鳥獣被害（特にイノシシ）が拡大しているため、鳥獣被害対策事業の周知を幅広く行い、被害作物、被害農地を軽減する。また、猟友会員への支援内容を見直し、鳥獣捕獲や追い払い等を促進する。 | 19,501 (市全体) | 【農作物被害対策】 ・電気柵設置補助17件(交付決定済) ・鳥獣被害防止地域活動補助1件(交付決定済) ・不要果樹伐採補助1件(今後交付申請) ・各集落に追い払い用火を配付 【有害鳥獣の駆除活動の支援】 ・狩猟免許取得補助5件 ・サル(21頭)、イノシシ(14頭)の駆除実績の確認。 | ・鶴岡市鳥獣被害対策実施隊と連携し、引き続き有害鳥獣による被害防止対策を行う。 ・令和7年度要望調査の結果をとおり、今後もより多くの被害対策を講じられるよう適宜意見集約に努める。 ・イノシシ被害が特に拡大しているため、電気柵設置促進や、低予算で行える被害対策等についても検討を行う。 | 産業建設課 |
| | 鳥獣被害対策事業（継続） | | | | | | | | | |
| 18 | 効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり (木材生産の拡大) | 市 | 森林環境譲与税を活用し、雨水排水施設等の設置による林道災害予防と曲線部の改良による路網整備等を行う。これにより、適正な森林経営と循環システムの構築・地域資源としての森林の利活用を図る。 | ・林道改良工事（本所予算） ※森林環境譲与税活用 林道戸沢口線改良工事 （令和5年10月～12月） 2,496千円 ・路面排水設備等工事 （令和5年11月～12月） 517千円 林道長沢線、林道戸の浦線（止水板6箇所） | ◎ | ・木材搬出のための路網整備は今後必要。 | 10,200 (市全体) | ・温海小国地区農道改良工事 ・路面排水設備等工事 林道桂谷線 | ・木材搬出道路改良工事(本所予算) ※森林環境譲与税活用 温海小国地区農道改良工事 令和6年10月～12月 予算6,000千円 ・路面排水設備等工事 林道桂谷線（止水板） 11月 | 産業建設課 |
| | 森林環境譲与税活用事業（継続） ・路面排水設備等工事 ・木材搬出道路改良工事費 | | | | | | | | | |
| 19 | 効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり (木材生産の拡大) | 事業実施団体 | 森林の集約化施策や再造林・保育事業を支援し、森林整備の推進を図る。 | ・森林整備地域活動支援事業補助金 境界明確化 関川宇入山 40ha 事業期間 6月1日～令和6年2月9日 ・森林再生促進事業補助金 下刈り25か所 47.92ha 事業期間 5月24日～11月30日 事業完了 | ◎ | ・今後も林業事業者が実施する間伐や下刈り等の事業に対する支援が必要。 | 82,456 (市全体) | ・森林環境譲与税活用間伐推進実施事業費補助金 利用間伐 53.0ha 作業道 6,300m 関川・戸沢・小名部 6月3日 52,282千円 交付決定済 ・森林環境譲与税活用事業費補助金 下刈り23か所 49.65ha 5月20日 5,535千円 交付決定済 | ・森林環境譲与税活用間伐推進実施事業費補助金 事業期間 6月10日～令和7年2月28日 ・森林環境譲与税活用事業費補助金 事業期間 5月23日～11月30日 | 産業建設課 |
| | 森林環境譲与税活用事業（継続） ・民有林間伐再造林促進補助金 | | | | | | | | | |
| 20 | 効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり (森林の保全) | 市 | 松くい虫被害木の伐倒駆除と松くい虫被害から守るための防除（薬剤の葉面散布による防除）を行い、松林景観の維持を図る。 | ・松くい虫防除事業（葉面散布） 暮坪～鼠ヶ間の海岸線中心6箇所 5月～6月実施 330千円 ・森林病害虫被害調査 五十川～鼠ヶ間の海岸線 被害木 96本 11月実施 171千円 | ◎ | ・高温により松くい虫の被害が拡大してきており、今後も景観維持のために防除が必要。 | 769 | ・松くい虫防除事業（葉面散布） 暮坪～鼠ヶ間の海岸線中心6箇所 5月～6月実施 385千円 事業完了 | ・森林病害虫被害木調査 五十川～鼠ヶ間の海岸線 本所予算で11月実施 ・被害木伐倒駆除事業 2月実施予定 予算434千円 | 産業建設課 |
| | 森林病害虫等防除事業（継続） | | | | | | | | | |
| 21 | 効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり (担い手の育成・確保) | 市 | 小学生から一般市民、漁業者などが参加し、森林学習や森づくり活動の体験等を行い、森林に対する理解を深めると共に、森林資源の有効活用と後継者の育成を図る。 ・天魄山森林自然教室 ・鼠ヶ間小学校森林環境教室 ・山の活動体験事業 ・ねずがせき魚の森づくり活動 | 【天魄山森林自然教室】 ・7月森の恵み学習、森の保全活動、8月焼畑あつみかぶ生産活動、11月サケ生産活動の学習、あつみかぶ収穫・漬込み体験を実施。 【鼠ヶ間小学校森林環境教室】 ・6月自然教室、9月竹林整備体験、焼畑あつみかぶ栽培体験（焼畑、播種）、10月竹細工体験、11月焼畑あつみかぶ栽培体験（収穫・漬込み体験）を実施。 【山の活動体験事業】 ・9月実施。 【ねずがせき魚の森づくり活動】 ・7月2回目、10月2回目実施。 | ◎ | ・森林環境教育について、屋外での活動が主となるが、悪天候や高気温により延期または中止となる場合が多く、関係機関(小学校・講師)との調整が難しい。 | 1,145 | 【天魄山森林自然教室】 ・7月森の恵み学習、森の保全 ・8月焼畑あつみかぶ生産活動(焼畑・播種) 【鼠ヶ間小学校森林環境教室】 ・6月自然教室 【ねずがせき魚の森づくりの会】 ・7月第1回魚の森づくりの会 下刈り作業 | 【天魄山森林自然教室】 ・11月焼畑あつみかぶ生産活動(収穫・漬込み)、サケ生産活動の学習 ・2月サケ稚魚の放流体験 【鼠ヶ間小学校森林環境教室】 ・9月竹林整備体験、焼畑あつみかぶ栽培体験(焼畑・播種) ・10月竹細工体験 ・11月焼畑あつみかぶ栽培体験(収穫・漬込み) 【山の活動体験事業】 ・9月28日 【ねずがせき魚の森づくり活動】 10月19日 第2回魚の森づくりの会 下刈り作業 | 産業建設課 |
| | 森林環境教育推進事業（継続） | | | | | | | | | |

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

| NO | 総合計画または地域振興計画上の位置付け 事業名 | 事業主体 | 事業内容 | 令和5年度実績 | 取組評価 | | R6事業費 (千円) | 令和6年度取組状況 | 令和6年度今後の予定 | 担当課 |
|----|-------------------------------------|--------|---|---|------|--|---------------|--|--|-------|
| | | | | | 達成度 | 評価・課題 | | | | |
| 22 | 効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり (木材生産の拡大) | 市 | 山形県の代行業として、檜代と早田を連結する新たな基幹林道を開設する。 市は、事業の進捗に応じて用地取得及び支障木伐採等を行う。 (計画期間：平成28年～令和7年) | 【早田地区】 ・支障木伐倒搬出事業 ・立木補償 ・用地測量 ・用地買収 ・所有権移転登記 【林道工事の推進】 ・鶴岡市重要事業として、市長から県知事に要望。 | ○ | ・令和7年度までの事業であるが現在の進捗状況から令和8年度以降も延長する事業要望が必要である。 | 7,500 | 【早田地区】 ・支障木伐倒搬出 ・立木調査 ・用地測量 【林道工事の推進】 ・鶴岡市重要事業として、市長から県知事に要望。 | 【早田地区】 ・支障木伐倒搬出(その2) 2月 ・立木調査(その2) 10月 ・立木補償 11月 ・用地買収 11月 ・所有権移転登記 12月 | 産業建設課 |
| | 林道念珠閣線開設事業（継続） | | | | | | | | | |
| 23 | 地域特性を生かした農林水産業の振興 | 事業実施団体 | 国の伝統的工芸品に指定されている「羽越しな布」の後継者育成や原材料の確保、需要の拡大等に資する取組を支援し、保存・伝承を図る。 | 【後継者育成事業】 ・皮はぎ研修全3回、素材づくり研修全2回実施。 ・糸づくり研修会・長期研修会を実施。 【需要開拓事業】 ・(有)スタイルV2インターナショナルに業務委託し、現地視察、定期的なミーティングを実施。 | ◎ | ・予定していた事業について、すべて実施。 ・需要開拓事業で専門家より頂いたアドバイスを、今後の運営に反映する。 | 1,044 | 【後継者育成事業】 ・しなの木の保育、原材料採取研修、糸づくり研修会を実施。 【需要開拓・販路開拓事業】 ・首都圏等での展示会への参加 | 【後継者育成事業】 ・月2回の糸づくり研修会を継続する。 【需要開拓・販路開拓事業】 ・都市部での普及促進や需要拡大を図る。 | 産業建設課 |
| | 【地域まちづくり未来事業】 温海地域伝統的工芸品振興事業（継続） | | | | | | | | | |

基本方針4 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備

| | | | | | | | | | | |
|----|-----------------------------------|-----------|---|--|---|---|-----------------|---|--|-------|
| 24 | 次代を担う人づくりの推進（適正な教育環境の整備） | 高校生等保護者等 | 温海地域から中学・高等学校等に通学する生徒を持つ世帯に対し、通学費の一部を支援することで、家庭の負担を軽減し、地域への定住化を図る。 ※申請交付手続きのデジタル化 ※致道館中学校・高等学校開校により、対象を中学生に拡大 | 【補助金交付】 ・総申請件数119件(実人数62人) ・申請交付手続きのデジタルサービスを開始し、保護者等の申請が24時間いつでも可能とした。 (7月10日～) ・申請件数100件 うちLINE申請61件(利用率61%) ・交付決定100件 うち電子交付56件(利用率56%) 【周知】 ・制度や手続きのデジタル化について、市ホームページや庁舎からのお知らせによる周知を行った。 ・中学3年生の保護者へ学校の協力を得て制度等を周知した。 | ◎ | ・引き続き、保護者等へ通学費支援制度や電子申請・交付手続きの活用方法を周知するほか、申請に係るデジタル活用をサポートをし保護者等の負担軽減を図る必要がある。 | 21,624 (市全体) | 【補助金交付】※4～8月受付分 ・申請件数31件(実人数22人) うちLINE申請24件(利用率77%) ・交付決定31件 うち電子交付23件(利用率74%) 【周知】 ・制度や申請手続きについて、市ホームページや庁舎からのお知らせによる周知を行った。 ※令和6年度から全市展開。 | ・引き続き、保護者等へ通学費支援制度や電子申請・交付手続きの利用方法を周知するほか、申請に係るデジタル活用をサポートをし保護者等の負担軽減を図る。 ・3月に新致道館中学生、新高校生の保護者の方へ学校を通して通学費支援制度の周知を行う。 | 総務企画課 |
| | 高校生等遠距離通学費支援事業 | | | | | | | | | |
| 25 | 交流・連携の推進と基盤の整備 (公共交通ネットワークの形成) | 協議会 | 乗合タクシー運行を支援する。地域住民や関係団体の声を反映させた運行と、地域住民への周知を強化することで利用拡大を図り、持続可能な公共交通を目指す。 | ・10月からの本格運行にあたって路線を見直し、利用状況が芳しくない菅野代線を廃止。代替として特別運行の実施と関川線の対象集落を拡大。 ・愛称募集は市民より88名の応募があり、「湯ったり号」に決定。 ・8月22日「地域の足」について考えようセミナーを開催し、試験運行評価検証報告及び利用者、運転手、協議会会長らによる座談会を実施。(参加者47名) ・10月2日平沢で本格運行記念セレモニーを開催。 | ◎ | ・令和5年度利用人数が14,368人、令和4年度利用人数が15,581人で前年度比約92%。平均乗車人数も年々減少している。 ・人件費・燃料費の高騰により委託料が年々増加している。 | 21,770 | ・地域住民から乗合タクシーについて理解を深めてもらい、利用促進を図るため、各集落で行っている健康教室、自治会会長、民生児童委員連絡協議会などにおいて、利用状況の報告、お得意情報やモデルルートの紹介などを実施。 ・7月市広報温海版に、利用状況の報告や事務局紹介などを掲載した。 | ・乗合タクシーの利用目的は通院や日常的な買い物が多いが、それ以外にも日帰り入浴などレジャーでのお出かけにも利用してもらうような取組を検討する。 ・利用者や医療機関などから要望や意見などを聴取し、時刻表の改善など利用しやすい乗合タクシーの運営に努める。 ・11月に、初めてとなる「湯ったり号通信」を作成し全戸配付する。 | 総務企画課 |
| | 温海地域公共交通運営事業 (乗合タクシー運行事業) | | | | | | | | | |
| 26 | 地域における人づくりの推進 (市民の多様な学習活動の推進) | 各地域学校協働本部 | 【あつみ小学校】 ・登下校の安全確保・学習支援 【鼠ヶ関小学校】 ・学習支援・郷土学習・環境整備 【温海中学校】 ・あつみ地域未来塾 | 【あつみ小学校】 ・見守り隊の保険加入、読み聞かせによる学習支援。 【鼠ヶ関小学校】 ・放課後児童クラブの実施。 【温海中学校】 ・あつみ地域未来塾（開講前に説明・相談会を実施。） | ○ | 【温海中学校】 ・通塾手段の確保が課題である。 ・講義回数を重ねる毎に、欠席者が増加している。 | 2,500 (市全体) | 【あつみ小学校】 ・見守り隊の保険加入(60名)、読み聞かせ(17名)による学習支援。 【鼠ヶ関小学校】 ・放課後児童クラブの実施。 【温海中学校】 ・あつみ地域未来塾の開講(8月17日～、温海中学校3年生36名中33名の申込み)。 | 【あつみ小学校】 ・読み聞かせによる学習支援。 【鼠ヶ関小学校】 ・放課後児童クラブの実施。 【温海中学校】 ・あつみ地域未来塾の講義。通塾困難者に対する支援検討。欠席時の理由の把握。 | 総務企画課 |
| | 地域学校協働活動推進事業 (継続) | | | | | | | | | |

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

| NO | 総合計画または地域振興計画上の位置付け 事業名 | 事業主体 | 事業内容 | 令和5年度実績 | 取組評価 | | R6事業費 (千円) | 令和6年度取組状況 | 令和6年度今後の予定 | 担当課 |
|----|---|---------|--|---|------|--|------------------|--|---|-------|
| | | | | | 達成度 | 評価・課題 | | | | |
| 27 | 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備 | 市 | 持続可能な集落の将来像を示す「集落ビジョン」の策定を促し、自治会機能の維持とコミュニティ強化を目指す。 | 自治会長を対象に集落ビジョン策定に向けた研修会を実施。 11月20日 参加者31名(自治会長27名、市職員4名) テーマ：持続可能なこれからの自治会活動を行うために 講師：NPO法人 都岐沙羅パートナーズセンター 理事・事務局長 斎藤主税氏 | △ | ・研修会（講師の講話と自治会長同士のグループトーク）を通し、自治会長の意識醸成を図り、他の自治会との情報交換もできたが、集落ビジョン策定に繋げることはできなかった。 | - | ・自治会からの相談に応じ、研修会などの講師派遣やワークショップの支援を行う。 | ・自治会からの相談に応じ、研修会などの講師派遣やワークショップの支援を行う。 ・広域コミュニティに関するアンケート調査を実施。 | 総務企画課 |
| | 【地域まちづくり未来事業】 温海地域集落ビジョン策定支援事業（継続） | | | | | | | | | |
| 28 | 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備 | 市 | 温海地域の豊かな自然と文化資源を生かし、「生きる力」を高め豊かな心を育む教育（SEL）プログラムを実践するための環境整備に取り組む。あつみ福祉会との連携を継続し、年長園児の交流や講師による各園訪問指導を実施するとともに、学校教育への導入を進めるため、市教委地域担当指導主事と連携し、小中学校教職員を対象とした研修会を実施する。 本取組を積極的に情報発信する。 | 温海地域SEL教育アドバイザー業務委託契約締結し、三森朋宏氏を講師とした研修会等を実施。 ・温海中学校教職員SEL研修 ・福栄の日（自然政策等） ・温海地域PTA3校合同研修会 ・鼠ヶ関小学校教職員SEL研修 ・あつみ小学校教職員SEL研修 ・鼠ヶ関保育園訪問指導 ・福栄の日（ネイチャーゲーム） ・温海地域ブロック研修会 ・プロジェクトチーム会議開催（毎月） | ○ | ・SELの学校教育への導入のための小中学校1回づつの校内研修及び小中合同研修会、3校合同PTA研修会は、計画通り実施したが、当初予定した保育園保護者説明会は、講師と保育園との日程調整が難しく実施できなかった。 ・事業の取組についての情報発信が必要である。 | 1,316 | 温海地域SEL教育アドバイザー業務委託契約締結し、三森朋宏氏を講師とした研修会等を実施。 ・あつみ保育園訪問指導 ・温海中学校教職員SEL研修、訪問指導 ・鼠ヶ関小学校教職員SEL研修 ・鼠ヶ関小学校教職員SEL研修 ・あつみ小学校教職員SEL研修 ・鼠ヶ関保育園職員SEL研修 ・プロジェクトチーム会議開催 | ・年長児交流事業（自然活動の中で育む交流保育） ・あつみ小学校教訪問指導 ・温海地域3校合同研修会 ・保育園訪問指導 ・地区別SEL研修会 ・SEL実践者による事例発表会 ・プロジェクトチーム会議開催 ・次年度に向けた関係者打合せ会 ※ 前年度未実施の保育園保護者説明会は、地区別SEL研修会にて実施。 | 総務企画課 |
| | 【地域まちづくり未来事業】 温海地域自然資源を生かした教育環境整備による定住促進事業（継続） | | | | | | | | | |
| 29 | 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備 | 福栄養蚕振興会 | 福栄養蚕振興会による養蚕の取組を支援し、「鶴岡シルクタウンプロジェクト」の推進と地域活性化、高齢者の生きがいづくりを促進する。 | 福栄養蚕振興会の活動を支援した。 ・振興会では、春蚕、晩秋蚕、晩秋蚕の3期に分けて蚕の飼育管理を行った。 ・飼育した蚕については、繭の状態を鶴岡シルク欄に販売したもののほか、幼虫の状態をベンチャー企業Morus欄に出荷したものと、幼虫の状態を松ヶ岡産業欄に提供したものがあつ。また、稚蚕（生後1週間の幼虫）を県内の各農家・企業へ販売している。 | ○ | ・繭のキロ単価が安価なことから、養蚕に係る収支は年々悪化している。加えて、関係者や従事者の高齢化が事業継続の課題となっている。 | 783 | 福栄養蚕振興会の活動を支援した。 ・振興会では、春蚕、初秋蚕、晩秋蚕、晩秋蚕の4期に分けて蚕の飼育管理を行っている。晩秋蚕まで完了。 ・飼育した蚕については、幼虫の状態を松ヶ岡産業欄に提供したもののほか、稚蚕（生後1週間の幼虫）の状態を県内の各農家・企業へ販売したものがあつ。 | ・晩々秋蚕期の飼育管理を行い、繭の状態を鶴岡シルク欄に販売する予定である。また、同時期に稚蚕（生後1週間の幼虫）の状態を県内の農家へ販売するための飼育も行う。 | 総務企画課 |
| | 【地域まちづくり未来事業】 温海地域養蚕環境整備事業（継続） | | | | | | | | | |
| 30 | 資源循環型社会の形成 (ごみ減量・資源化の推進) | 市 | 地域内の各家庭より排出される家庭ごみ（一般廃棄物）の収集運搬業務を委託する。 また、温海地区衛生組織連合会の集団資源回収を支援し、古紙や瓶を別途回収し一般廃棄物の削減を図る。 | ごみ処理施設見学会2回、特に古紙に重点を置いた講習会を5回、啓発チラシ全戸配布3回を実施。 令和5年度の家庭ごみの収集量は対前年比で可燃が△8.7%、不燃が△3.6%、全体で△8.1%と減少しており、古紙を含めた資源物の比率は22.0%（前年同期21.9%）で前年並みとなっている。また、違反ごみについても△28.9%と大きく減少している。 | ○ | ・温海地域のごみ全体に占める資源物の割合は増加傾向にあり、再資源化への理解は深まっている。 ・一方で古紙類の集団資源回収で、古紙類以外が混入する不適切な排出が課題となっており、改善に向けた啓発・指導が必要である。 | 443,823 (市全体) | ごみ処理施設見学会2回、ごみ分別講習会を1回、啓発チラシ全戸配布1回を実施したほか、古紙回収日にあわせて資源回収ステーションの巡回指導を4月、8月の2回実施している。 7月末現在の家庭ごみの収集量は対前年比で可燃が△3.3%と減少、不燃は2.2%増加しているが、内訳をみると増加しているのはプラ・ペット、びん・缶類であり、家庭ごみ全体の排出量が減少する中で、資源物の割合が増加している。 | 各自自治会に対し、ごみ分別講習会・ごみ処理施設見学会の実施の働きかけを行うほか、啓発チラシの発行を2回実施する。また、課題となっている古紙類の集団資源回収について、回収日にあわせて集積場の巡回、立哨指導を11月、3月に実施する。 | 市民福祉課 |
| | 塵芥収集事業 (継続) | | | | | | | | | |
| 31 | 子ども・家庭・地域がともに健やかに育つ環境の充実 (子育て世代の負担軽減) | 事業実施団体 | 保育園の統廃合に伴う保護者負担軽減のため、あつみ福祉会が行う保育園通園事業に対して経費の一部を補助する。 | 延べ運行回数 あつみ保育園：海側466回・山側459回 鼠ヶ関保育園：458回 利用者 あつみ保育園4～7月：18名 8～10月・3月：15名 11～2月：16名 鼠ヶ関保育園4～12月：2名 1～3月：3名 | ◎ | ・あつみ保育園海側運行の利用者が車両の定員を超えるため、1.5往復となっている。 | 19,104 | 延べ運行回数 あつみ保育園：海側・山側504回 鼠ヶ関保育園：504回 利用者 あつみ保育園4～3月：14名 鼠ヶ関保育園4～3月：4名 あつみ保育園海側運行に用いる車両を更新し、1往復での送迎が可能となった。 | 利用実績に応じた補助金の交付。 | 市民福祉課 |
| | 民間保育所等への各種補助事業 (温海地域保育園通園事業補助金) (継続) | | | | | | | | | |
| 32 | 子ども・家庭・地域がともに健やかに育つ環境の充実 (子どもの居場所づくりの推進) | 市 | 保護者が就労等により留守になる小学生を対象とした放課後児童クラブの運営を支援し児童の健全育成を図る。 (あつみ保育園に併設するあつみっこクラブ) ※利用料月額6,500円（長期休暇、2人目以降等加算有） | あつみっこクラブの実績 開所日：253日 登録児童数：43名 年間延べ通所児童数：2,954名 | ◎ | ・Wi-Fi環境を整備し、小学校が実施するiPadによる家庭学習への対応を行った。 ・登録者が多く、相対的に保育室が非常に狭くなっている。安全・衛生の両面から増築の必要性を感じる。 | 462,006 (市全体) | 登録者数46名 長期休暇は8：00～18：30開所 それ以外はあつみ小学校退校時刻～18：30まで保育を行っている。 また、小学校の臨時休校や振替休日時は開所し対応している。 | ・あつみっこクラブの増築について、補助事業の採択を目指し検討を進める。 ・運営に関しては、継続的に安心・安全に保育を行う。 | 市民福祉課 |
| | 放課後児童対策事業 (継続) | | | | | | | | | |

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

| NO | 総合計画または地域振興計画上の位置付け 事業名 | 事業主体 | 事業内容 | 令和5年度実績 | 取組評価 | | R6事業費 (千円) | 令和6年度取組状況 | 令和6年度今後の予定 | 担当課 |
|----|---|--------|--|--|------|--|------------------|---|---|-------|
| | | | | | 達成度 | 評価・課題 | | | | |
| 33 | こころと体の健康づくりの推進 (生活習慣病やがんの予防推進) | 市 | 糖尿病、循環器疾患などの生活習慣病の予防やがんの早期発見のため、年1回の定期的な健診と健診結果に基づく指導を行い、働き盛りからの健康管理と高齢期における健康保持を目指す。 | 特定健診、がん検診の会場を見直し、障害者に配慮した受診会場で実施。令和2年度以降コロナで受診を控える人が多かったが、受診者は改善傾向にある。 温海地域の集団検診 16回/年 | ◎ | ・健康診査事業については、持病により定期的に通院している方の受診率が低い状況にあるが、年1回の総合検診を受診していただくよう理解を深める取組が必要である。 | 185,859 (市全体) | ・いのちを支える鶴岡市自殺予防対策に基づき、うつ病の正しい理解のための周知と啓発、相談等の対応に関係機関と連携し取り組んでいる。 ・糖尿病等の生活習慣病発症予防や重症化予防のため、障害等に配慮した受診しやすい集団検診の実施に努め、特定健診とがん検診の受診率向上を図ると共に、特定保健指導等の実施に取り組んでいる。 | ・こころのサポーター研修を実施し、本市の自殺の現状やうつ病について、関係機関と共に周知啓発、個別の相談に継続して取り組む。 ・集団健診は年16回実施予定のうち12回実施済み。 ・次年度の特定健診とがん検診の意向調査実施。 ・次年度集団健診日程調整。 | 市民福祉課 |
| | 健康診査事業 (継続) | | | | | | | | | |
| 34 | 障害者が自立して暮らせる地域共生社会の実現 (障害者地域生活支援の環境整備) | 市 | 障害者の社会参加を進めるため、タクシー券 (@500円×36枚)、又はガソリン券 (@500円×18枚)を交付し、利用料金等の一部を助成する。 ※対象者：身障1級～3級、療育A、精障1級の手帳保持者 48名の方が未申請。 | 交付対象者は左記手帳所持者で、温海地域の対象者数は203名。 申請状況：タクシー券 83名 福祉給油券 72名 タクシー利用料金または自家用車の給油料金の一部を助成し、障害者の社会参加を促進し、福祉の増進を図った。 | ○ | ・未申請者の中には、施設入所者も多く含まれるため未申請が多い傾向にある。 しかし、事業内容を理解せず未申請となっているケースも見受けられることから更なる事業周知が必要である。 | 23,891 (市全体) | 交付対象者は左記手帳所持者で、温海地域の対象者数は209名(8月31日現在)。 申請状況：タクシー券 72名 福祉給油券 66名 タクシー利用料金または自家用車の給油料金の一部を助成し、障害者の社会参加を促進し、福祉の増進を図っている。 | 新規手帳取得者で交付対象となる方へ、手帳受取時に概要を説明し、申請を受け付ける。 未受取の方についても、随時申請を受け付ける。 | 市民福祉課 |
| | 重度心身障害(児)者社会参加促進事業 (継続) | | | | | | | | | |
| 35 | 高齢者が健康で生き活きた地域の実現 (介護予防の充実と社会参加の促進) | 事業実施団体 | 公民館等の施設を活用し、体操等の介護予防活動を主体的・継続的に実施する団体に補助金を交付し、高齢者の健康の維持増進を目指す。 補助要件：月2回以上の活動、年4回外部の専門職から指導を受ける等 | 月2回以上、公民館等に集まり、体操や会話を行うことにより、健康増進を図った。年4回以上専門職の指導を受け健康保持を図った。 温海地域の交付団体：5団体 交付金額：175,000円 | ◎ | ・申請手続き等ができなく、申請を断念する団体や会員の高齢化により、5人以上集まることができない団体が増えてきている。 | 3,250 (市全体) | 今年度受付分 ・申請件数6件(6団体、99人) 交付決定6件(うち新規1件) | ・地域包括ケア推進課と包括あつみ職員と各団体へ視察。 ・新規の相談を随時受け付ける。 | 市民福祉課 |
| | つるおか元気アップ支援事業 (地域介護予防活動支援事業補助金) (継続) | | | | | | | | | |
| 36 | 高齢者が健康で生き活きた地域の実現 (地域生活を支える体制の充実) | 市 | 在宅での生活に支障がある高齢者に、一定期間住居を提供し、各種相談、助言及び緊急時の対応を行う。 (温寿荘内生活支援ハウス) | 越冬目的や猛暑避難等のため、延べ168人が利用。延べ利用日数は626日。 一人暮らし高齢者が安心して生活できるよう相談に応じ、入居判定会議を書面協議で行うなどスムーズに対応した。 | ◎ | ・環境の変化で認知症状の悪化が見られる利用者の対応。 | 3,876 | 利用状況 6月 利用者1人 利用日数延べ 6日 7月 利用者1人 利用日数延べ 31日 昨シーズンは暖冬で残雪もなかったことから、4月の利用はなかった。 | 高齢者一人世帯の越冬目的の利用を見込んでいる。 11月中入居判定会議 利用期間 12月から翌4月 利用見込 延べ 605人(延べ605日) | 市民福祉課 |
| | 高齢者施設運営事業(高齢者生活福祉センター運営業務委託料) (継続) | | | | | | | | | |